

委託事業実施内容報告書

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的長期研修】

受託団体名 特定非営利活動法人 市民社会研究所

1 事業の趣旨・目的

四日市市はブラジル人等のいわゆる「ニューカマー」定住外国人が急増している。これらの人々やその家族が、地域社会の一員として暮らしていくためには、地域住民の異文化理解と、彼らの日本語習得への支援が必要であり、とりわけ未来を担う子どもの学習を含めた支援は、国籍を超えて地域の重要な課題である。

今回の研修講座によって、地域に埋もれている日本語教育のスキルや意欲のある市民を発掘し、定住外国人とその子どものための日本語学習支援のスキルアップと、多文化共生の理念を身につけた質の高いボランティアの養成を目指す。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
7月1日 10:00～12:00	四日市市 なやプラザ	企画委員 8名	・講座の体系、内容企画 ・受講対象者と広報	昨年度の実績を踏まえ、今年度の対象者や内容の方向性を決定
9月20日 17:00～19:00	四日市市 なやプラザ	企画委員 8名	・参加者と実施内容の確認 ・役割分担について	講座実施直前の状況報告と、役割分担の意思統一を行った。
3月15日 17:00～19:00	四日市市 なやプラザ	企画委員 8名	・講座のふりかえり ・今後の日本語ボランティア養成のあり方	参加者アンケートに基づく全講座のふりかえりと、今後の方向性についての議論を行った。

【写真】



第1回会議風景

(2名のボランティアがオブザーバー参加)

3 研修講座の内容について

(1) 研修講座名

未来を担う子どもと大人のための日本語ボランティア養成講座

(2) 研修の目標

- ①日本語を教えるための基本的・体系的なスキルの習得
- ②子どもの学習支援に応じられるスキルの習得
- ③四日市市の国際化の現状と多文化共生理念の理解

(3) 受講者の総数 30 人

(4) 開催時間数(回数) 60時間 (8回)

(5) 参加対象者の要件

特になし

(6) 受講者の募集方法

①募集チラシ

- ・四日市市国際交流協会 ・三重県国際交流センター
- ・四日市市なやプラザ ・四日市市立図書館
- ・四日市市内各地区市民センター(チラシを持参し参加依頼を行う) など

②ポスター

- ・四日市市国際交流協会 ・三重県国際交流センター
- ・四日市市なやプラザ ・四日市市立図書館
- ・四日市市内各地区市民センター

③当団体ホームページ

(7) 研修会場

ア 講義 四日市市なやプラザ

イ 実習 四日市国際交流センター 四日市市立笹川西小学校
四日市市国際共生サロン

(8) 使用した教材・リソース

比べてわかる日本語表現

日本語教育決定試験に合格するための記述式問題

日本語教育決定試験に合格するための異文化理解

日本語教育決定試験に合格するための世界と日本

中級日本語文法と教え方のポイント

みんなの日本語初級ⅠⅡ にほんご次の45時間

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
----	----------	----	------

9月28日(日) 9:00～17:00	(午前)オリエンテーション 国際化の背景と四日市市の現状 四日市市の外国人と日本語教育の現状 (午後)講義とビデオ:外国人の人権 グループディスカッション「多文化共生」	四日市市文化国際課 永田 真理 四日市市教育委員会 植松 佳子 四日市市人権学習センター 中島 久恵	26名
10月26日(日) 9:00～17:00	(午前)日本語の教え方(見学) (午後)日本語指導の基本・意見交換	四日市市国際交流協会 小林 康浩 四日市大学 西牧 義江	24名
11月19日(水) 9:00～17:00	(午前)子どもの日本語の教え方(見学) (午後)講義「子どもの日本語の教え方」 意見交換	四日市市立笹川西小学校 鈴木 忠彦	20名
11月28日(金) 13:00～17:00	(午後)子どもの日本語の教え方(見学) 意見交換	四日市市国際共生サロン 池田 立志	20名
12月21日(日) 9:00～17:00	日本語の教え方の基礎(1)	四日市日本語学校 和田明子・奥真由美 野口逸美 三重国際交流学びあいの会 浦山美和子	24名
1月25日(日) 9:00～17:00	日本語の教え方の基礎(2)	四日市日本語学校 和田 明子 奥 真由美	21名
2月14日(土) 9:00～17:00	日本語の教え方の基礎(3)	四日市日本語学校 和田 明子 奥 真由美	22名
3月15日(日) 9:00～17:00	(午前)日本語指導の実習・ワークショップ (午後)四日市大学留学生との交流 日本語サークル紹介	四日市大学 西牧 義江 四日市大学留学生(8名) 四日市市を中心とする 日本語サークル代表者 (8団体)	24名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

【全体を通して】

- ・講座の内容はとても濃く、わかりやすく興味深く勉強できた。
- ・日本語教育の奥深さを認識した。今後はボランティア活動をしていきたい。
- ・日本語を教えている現場を見学でき、現場の先生たちと意見交換ができたのは、とても有意義な企画であった。

【講師・資料等について】

- ・講師が大変熱心で、引き込まれた。
- ・日本語学校の先生から、日本語を教える際の細かい注意点や体験談が参考になった。
- ・ディスカッションや発表などのワークショップ形式は、講義を聴くだけより得るものが多い。
- ・グループ討議が楽しい雰囲気であった。

【行政等の取り組みについて】

- ・四日市市の現状がよくわかった。
- ・いろいろな教材を開発しながら取り組んでいる日本語サークルの活動が理解できた。
- ・日本の地域住民に外国人の理解を進める教育が必要だと感じた。
- ・地域での行政と市民とのネットワークが必要。

② 実施主体からの研修内容結果評価

日本語ボランティアの層を広げたいという当初の思いはある程度実現できた。また、日本語教育に関わる四日市市内のさまざまな主体をネットワークすることで、日本語サークルとの連携、四日市大学留学生との交流など、これまでになかった関係づくりや交流が生まれたことは、大きく評価できる。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

現在、下記の提案が受講生から出されており、今後検討していく予定。

- ・学校に通う外国人の子どもの、放課後学童クラブを兼ねた宿題ボランティア支援
- ・外国人集住地域での外国人への日本語指導と地域内の日本人との交流

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

【人財ポケットよっかいち】

四日市市の地域再生計画に位置づけられた社会貢献人材バンク「人財ポケットよっかいち」と連携することによって、地域で増加する外国人のための日本語教育の意欲と能力をもつ人材の掘り起こしや、養成した人材の効果的な派遣システムと連動。

【四日市市・(財) 四日市国際交流協会が行う諸事業との連携】

四日市市や市教育委員会が実施している、外国人対策事業と連携

② 研修後の人材活用

- ・四日市市内のさまざまな日本語サークルに入り、在住外国人の日本語教育の場に参加していただく。
- ・「人財ポケットよっかいち」に登録していただき、地域、企業、学校等から寄せられる外国人に関するニーズに対応していただく。
- ・行政と連携し、新たな地域の日本語ボランティアニーズに対応していく。

(12) 今後の課題

- ① 日本語ボランティアとして自信が持てる、ひととおりのスキルを身につけるための学習プログラムを完成させる。
- ② 子どもへの対応と大人への対応とのねらいを整理させる。